

一七  
中  
支  
那  
方  
面  
部  
隊

-205-

1881

第三師団第二野戦病院

年	月	日	略	歴
昭和二三	八	一四	動員下令	
	八	二四	動員完結(名古屋)	
	八	三一	大陸渡航のため宇品港出帆	
	九	五	吳淞上陸	
	一一		上海附近の警備	
	一二		南京附近の警備	
一三	三		鎮江附近の警備	
	一〇		信陽駐とん	
一四	三		応山附近の警備	
一五	四	二九	宜昌作戦参加	
	一一	一〇	漢水作戦参加	
一六	八	二一	長沙作戦参加	
	一二	一四	第二次長沙作戦参加	
一七	四	三〇	浙作戦参加	

一七	二一八	大別山作戦参加
一八	四一六	江南殲滅作戦参加
一九	〇一四	常德殲滅作戦参加
二〇	四二八	湘桂作戦参加
二〇	二二九	来賓地区の警備
二〇	三二五	都安作戦参加
二一	五四	湘桂反転作戦参加
二一	八一五	停戦
二二	八二五	復員下令
二二	二二三	上海港出帆
二二	二二六	博多上陸
		復員完結

1882

					昭和	年	月	日
至自	至自	至自	至自	至自	一八			
二〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	九	七	五	一
八二五	八一五	八八〇	八六〇	六五〇	五二四	七	五	一
復員下令 現地復帰	停戦	浦口に向う前進に参加	安義に向う敵中突破戦に参加	湘西作戦に参加	全県附近の警備	湘桂作戦に参加	爾後南昌附近の警備	編成完結(中支那江西省南昌)
					軍令陸甲第三十六号に依り第三十四師団工兵隊編成下令	略	歴	

1884







				昭和二〇
				九二二
			一一二〇	黄 県楊子着
			一一二三	楊子出発
		二一	一一二三	団風着
		五八		内地帰還のため団風出発
	五二三			上海港出帆
	五二九			鹿児島港上陸



第六方面軍軍馬防疫廠

年 月 日 略 歴

昭和二〇 二一四 給参第二七二号に依り第六方面軍軍馬防疫廠臨時編成改正下令

三二五 臨時編成(改正)完結

八一五 停戦

八二五 統参一第七〇八号に依り武昌附近に於て復員 同日現地復帰完結

		年		月		日		略	歴
		昭和	一八	五	二	九			
				七	一	〇		編成完結(安徽省廬州)	
				七	三	〇		同日より同地附近の警備	
				八	一			移駐のため廬州出発	
								江蘇省銅山県徐州着	
								同日より同地附近の警備	
								第一次豊碭地区討伐に参加	
								淮海省東南部剿共戦に参加	
								京漢作戦(潁水作戦)に参加	
								淮河啓開作戦に参加	
								停戦	
								復員下令	
								現地復帰	

歩兵第七十一旅団司令部

独立迫撃第二中隊

昭和一九	年	月	日	略	歴
八一				軍令に依り編成下令	
八二				編成完結（金沢）	
九三				屯営出発	
九五				下関港出帆	
九七				安東通過	
九九				山海関通過	
九一				三上海港上陸	
九一				同日より上海附近の警備	
八六				浦東地区の警備	
二〇				内地帰還のため上海出帆	
二二				鹿兒島港上陸	
一一				復員完結	

第百九十一兵站病院

年	月	日	略	歴			
昭和一八	五	七	一〇	昭和一八年軍令陸甲第三六号により編成下令 第二十七師団第二野戦病院所属者を基幹として 金華陸軍病院編成完結（金華）			
		同日		金華において衛生機関の業務に従事			
		二〇	三	五	昭和二〇年軍令陸甲第一八号により臨時編成改正下令		
		三	五	第一九一兵站病院編成完結			
		五	一	九	嘉興県嘉興に転進 衛生機関の業務に従事		
		八	一	五	停戦		
		二	二	三	二	五	上海集結のため嘉興出発
		三	二	六	呉淞鎮着		
		四	六	上海出帆			
		四	一	二	博多上陸		
		四	二	三	復員完結		

独立工兵第五三大隊

年	月	日	略	歴
昭和	一七	三三	一	軍令陸甲第一五号により中国河南省開封において編成完結、同地にありて教育および訓練に従事
		五	五	開封発
自	一七	九	一	浙 作戰に参加 道路補修並びに渡河作戰に任ず
至	一七	一	一	安徽省 埠に移駐、同地附近において訓練並びに警備に従事
		二	二	軍令陸甲第一〇〇号により独立工兵第五三大隊復帰、並びに船舶工兵第一〇連隊臨時
		二	二	編成完結、復帰人員は船舶工兵第一〇連隊に編入
		二	二	埠発
		二	二	上海着
				部隊長 西村 少佐